

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-107
補助事業名 平成22年度 環境調和型航空機技術に関する調査研究等補助事業
補助事業者名 (社) 日本航空宇宙工業会

1 補助事業の概要 http://www.sjac.or.jp/common/pdf/sjac_gaiyo/hojo/22-107.pdf

(1) 事業の目的

航空機産業は、幅広い技術波及効果を有する先端技術であり、わが国において更なる発展が期待されているものである。又、近年航空機分野においても環境保全、資源・エネルギー消費の削減等の要請が高まっており、適切に対処が求められている。

ところが、わが国の航空宇宙産業は、遅れて発展し、欧米に比べ産業規模も小さく、国際競争力も未だ脆弱な状況にあり、自主努力のみで技術基盤の強化などを図っていくことは容易ではない。航空宇宙産業に対しては、他の航空先進国においても戦略事業としてその発展を図っている。こうした中で、航空機分野における環境保全、資源エネルギー消費の削減等に対応するため、環境調和型航空機技術の研究開発を推進すると共に、課題の検討を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

環境調和型航空機技術に関する調査研究

本事業を推進するため、当工業会内に設置された革新航空機技術開発センター企画委員会において、研究開発の課題・実施方法、成果の評価について検討・協議を行った。

この結果、以下の6件の研究課題を選定・実施し、その成果を報告書にまとめて関係先に公開・配布した。

- 軽量ファイバーメタルの研究
- チタン合金のインクリメンタル・フォーミング技術の研究
- 高耐食性アルミダブルフレキシブルコアの研究
- 航空エンジンのタービン翼に適用する冷却空気削減技術の研究
- 航空機 HLD 騒音低減技術の研究
- 最適化技術を応用した高揚力装置の設計技術開発

2 予想される事業実施効果

将来の革新的航空機を目標とした環境調和型航空機技術の委託研究を実施し、我が国航空機工業の基盤強化を図る。これらの成果は、航空機製造業だけではなく他の産業分野にも応用しうる多くの先進的成果を包含しており、我が国の航空機業界並びに関連産業の発展と振興に大きく貢献することが期待される。

3 本事業により作成した印刷物等

〔CD〕

- ・高耐食性アルミダブルフレキシブルコアの研究
- ・チタン合金のインクリメンタル・フォーミング技術の研究
- ・軽量ファイバーメタルの研究
- ・航空エンジンのタービン翼に適用する冷却空気削減技術の研究
- ・航空機HLD騒音低減技術の研究
- ・最適化技術を応用した高揚力装置の設計技術開発

〔印刷物〕

- ・委託研究成果発表会予稿集

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： (社)日本航空宇宙工業会 (ニホンコウクウウチュウコウギョウカイ)

住所： 〒107-0052

東京都港区赤坂1丁目1番14号

代表者： 会長 佃 和夫 (ツクダ カズオ)

担当部署： 総務部 (ソウムブ)

担当者名： 役職名 部長 塩澤 隆司 (シオザワ タカジ)

電話番号： 03-3585-0511

FAX： 03-3585-0541

E-mail： shiozawa@sjac.or.jp

URL： <http://www.sjac.or.jp>